

【相談内容】

No41.トラス橋におけるボルトの腐食調査、交換について

○診断にあたってのポイントについて

【助言内容】

- 歩行者・自転車しか利用がないこと、将来的には廃橋を考えていること、ボルトの抜け落ちは1箇所であること、架設（塗装）から40数年経過している割には健全であること、支承周りのモルタル（コンクリート）損傷も一部分であることなどから早急に橋梁全面の塗装塗り替えを行う必要はないと思われる。
- Ⅲ判定とされている箇所（ボルトの抜け落ち箇所、支承周りのモルタル（コンクリート））の補修でよいと考える。
- ただし、転落防止の観点から橋面の防護柵の破断箇所の補修は早急に対応した方がよい。